

いしかわプレ妊活健診について

○検査項目について

詳しくは以下の説明をご覧ください。

判定項目	検査内容	検査の意義	男性	女性
基本検査	身長 体重	身長・体重からBMIを計算します。		
	腹囲	腹囲測定で、メタボリックシンドロームの予備軍になっていないかを確認します。	○	○
	血圧	血圧が高いまま妊娠すると、合併症のリスクが高まります。		
糖代謝	血糖 HbA1c	血糖のコントロールが悪いと、妊娠しにくかったり、先天異常を合併する確率が高いことが知られています。	○	○
脂質代謝	HDL LDL 中性脂肪	生活習慣病があると、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病の合併リスクが高まります。	○	
肝機能	AST ALT γ-GTP	肝臓の異常に敏感に反応する酵素です。この量から肝細胞の状態を見ることができの検査です。 薬剤やアルコールによる肝障害の指標になります。	○	
甲状腺機能	TSH FT4	甲状腺ホルモンは妊娠の成・維持に重要で、バランスが悪いと不妊症や流産の原因になります。		○
性感染症	クラミジア 梅毒 淋病	クラミジア感染は、卵管炎や子宮頸管炎により不妊症の原因になることがあります。梅毒などは、母子感染を起こすことが知られています。		○
経膈エコー	超音波検査	腹壁の超音波検査よりも、より卵巣の状態や子宮の状態を詳細に確認できます。卵巣内の細胞の数や発育状況を見て妊娠の準備がどれくらいできているのかわかります。		○
精液検査 (セルフ チェック)	スマホ利用	精子の状況（精子濃度や運動率）を知ること で、妊娠可能か否かの目安を知ることが出来ます。精子の状況は体調により変化します。	○ 希望者	
健康教育	ライフプランを考える時に、「正しく知って欲しい「妊娠に関する医学的情報」をお伝えします。※パンフレット贈呈		○	○

○いしかわプレ妊活健診における健診結果等の調査・利活用について

(1) 調査目的

石川県では、いしかわプレ妊活健診の結果及び健診後の受診者実態について調査し、結果を集計・分析することで、事業の成果を把握し、今後の制度を一層充実していく上で活用することとしています。

(2) 調査の内容・方法

調査結果は、各医療機関及び市町を通じて、石川県に報告されます。報告には個人が特定される情報を含んでおらず、プライバシーは厳守されます。

(3) 調査・集計される項目について

- ・ 健診結果
- ・ 個人が特定されない範囲の受診者情報（年齢、婚姻日など）
- ・ 健診後の市町への各種届出状況